

國際法外交雜誌

第 一 號 第 三 十 九 卷

昭和十五年一月一日發行

論 說

人種的差別に基く婚姻禁止法の涉外的效力 東京帝大教授 江川英文
大戦前に於ける英獨海軍交渉顛末 法學博士 細野軍治

時 論

イギリスのドイツ貨物捕獲令

東京帝大教授 横田喜三郎

紹 介

Freeman, International Responsibility of States for the Denial
of Justice. — 國松久彌「國境の話」

外交文書

日本タイ國間航空協定

國際法外交雜誌

第三十九卷 第二號

昭和十五年二月一日發行

論 說

國際私法上に於ける法律變更

東京商科大学講師 久保岩太郎

我が國に於ける英國人の相續問題

法 學 士 折 茂 豊

大戦前に於ける英獨海軍交渉顛末

法 學 博 士 細 野 軍 治

(一九〇七—一九一四)

時 論

シチー・オヴ・フロント號事件に關する研究

法 學 博 士 立 作 太 郎

紹 介

Raape. Deutsches Internationales Privatrecht.-Hakki. Les conflits de qualifications dans les droit français, anglo-saxon et italien comparés.

外交文書

日本ハンガリー文化協定

國際法外交雜誌

第三卷 第九十三號

昭和十五年三月一日發行

論說

支那租界の中立性

東京商大助教授 大平善梧

外交使節の特權の性質に就て

立命館大學教授 大淵仁右衛門

我が國に於ける英國人の相續問題

法學士 折茂豐

時論

淺間丸事件

法學博士 立作太郎

外交文書

淺間丸事件ニ關スル公文

國際法外交雜誌

第三十九卷 第四號

昭和十五年四月一日發行

論說

倫敦海戰法規會議に於ける間接的損害の問題

東京帝大助教授 安井 郁

支那租界の中立性

東京商大助教授 大平 善 梧

時論

東亞に於ける舊體制と新體制

東京帝大教授 神川 彦 松

資料

條約に關する法典案

早稻田大學教授 一又 正 雄

紹介

外國雜誌論文批評

トマス・ペイテイ

外交文書

日ノ漁業條約效力延長に關する議定書

國際法外交雜誌

第三十九卷 第五號

昭和五十五年五月一日發行

論說

國際私法上に於ける法律變更

東京商大講師 久保岩太郎

倫敦海戰法規會議に於ける間接的損害の問題

東京帝大助教授 安井 郁

我が國に於ける英國人の相續問題

法 學 士 折 茂 豊

紹介

外國雜誌論文批評

トマス・ベイティ

新刊紹介

Nussbaum, Money in the Law—Reu, Die staatliche Zuständig
keit im Internationalen Privatrecht—Morris, Cases on Private
International Law.

國際法外交雜誌

第 三 十 九 卷 第 六 號

昭和五十七年七月一日發行

論 說

プロテクトラート・ペーメン及メーレン

の基礎法

法 學 士 市 毛 孝 三

國際私法上に於ける法律變更

東京商大教授 久保岩太郎

我が國に於ける英國人の相續問題

法 學 士 折 茂 豊

時 論

安全水域に關するパナマ宣言

東京帝大教授 横田喜三郎

紹 介

外國雜誌論文批評

トマス・ベイティ

會 報

國際法學會春季總會記事

國際法外交雜誌

第 七 號 第 三 十 九 卷

昭和十五年九月一日發行

論 說

イギリス外交文書よりみたる小笠原島

問 題

條約登録の義務と效果

時 論

アドミラル・グラートン・シユペー號事件

紹 介

外國雜誌論文批評

外交文書

日本「ウルグアイ」通商航海條約

京城帝大教授 奥平武彦

東北帝大助教授 小谷鶴次

法學博士 立作太郎

トマス・ベイティ

國際法外交雜誌

第三十九卷 第八號

昭和十五年十一月一日發行

論說

米・蘇・獨の國際法觀に關する若干の
考察

早稻田大學講師 一又正雄

イギリス外交文書よりみたる小笠原島
問題

京城帝大教授 奥平武彦

時論

ローデル・ハルのモンロー主義觀

東京帝大教授 神川彦松

紹介

外國雜誌論文批評

トマス・ペイテイ

外交文書

滿洲ニ於ケル日滿合辦通信會社ノ設立ニ關スル協定ノ
修正ニ關スル議定書

國際法外交雜誌

第九號 第三十九卷

昭和五十年十一月一日發行

論說

仲裁裁判の法的本質

東京帝大教授 横田喜三郎

米・蘇・獨の國際法觀に關する若干の考察

早稻田大學講師 一又正雄

時論

明日の國際法

法學博士 松原一雄

會報

國際法學會秋季總會記事

國際法外交雜誌

第三十九卷 第十號

昭和五十二年十二月一日發行

論 說

戰時國際法の特色から見た戦争の意義

立命館大學教授 大淵仁右衛門

自由主義時代の典型植民地

法 學 士 楊井克巳

資 料

外交使節の特權及免除並に領事の法的地位

早稻田大學講師 一又正雄

及職務に關する二法典案

時 論

佛國の戰時國籍立法

東京帝大教授 江川英文

外交文書

日本・獨逸・伊太利間三國條約